20: 54-106. ———. 1964. J. Hattori Bot. Lab. **27**: 51-72. ———. 1966. J. Hattori Bot. Lab. **29**: 171-213. Kamimura, M. 1952. Contributio ad Floram Hepaticarum Shikokuensem. pp. 185. Kochi. Müller, K. 1956. Lebermoose Europas, in Rabenhorst's Krypt.-Fl. v. Deutsch., Oester. u. Schweiz VI, 3 Aufl. Lief. 6, pp. 757-916. Schuster, R.M. 1959. Amer. Midl. Nat. **62**: 1-166. ———. 1963. J. Hattori Bot. Lab. **26**: 185-309. Setchell, W.A. 1924. Depart. Marine Biol. Carnegie Instit. Washington **20**: 129-151.

* * * *

ハネゴケ科のモノグラフ研究中に異名におとされるもの，学名の変更を要するもの，およびハネゴケ科から除外すべきものなどをとりまとめて記した。*Acrochila* はハネゴケ属 *Plagiochila* から最近分離されたものであるが，現在までに3種が知られており，ニュージーランド，タスマニア，ニューカレドニアに分布する。私は以前 *Chiastocaulon* を *Plagiochila* に含めたが，これはやはり独立属としておいた方がよいと考えるに到った。この属は1種 *C. dendroides* を含み，図2に示すような分布をしている。*Plagiochilion* についてはすでにモノグラフを発表したが（服部植物研究所報告 27 号，1964），*Plagiochila* の名で記載された3種が更に *Plagiochilion* の種の異名となる。イギリスで永い間1回しか採集されたことのない *Plagiochila ambagiosa* はヨーロッパに広く分布して変化に富む *P. spinulosa* の極端な変化形である。

ハネゴケ科から除外するものには日本から記載された *Plagiochila wakawana* が Lophocoleaceae トサカゴケ科の *Chiloscyphus polyanthus* の異名に，ニューカレドニアの *Plagiochila subopposita* とジャワの *Pl. ligulifolia* が Lophoziaceae イチョウウロコゴケ科の *Syzygiella variegata* の異名となる。いずれも有名な F. Stephani の種である。

○高等植物分布資料 (53) Materials for the distribution of vascular plants in Japan (53)

○タカネソヨゴ *Ilex pedunculosa* Miq. var. *senjoensis* Hara 暖帯を主生育地とするソヨゴが伊那谷を北上し，赤石山脈の針葉樹林帯下半部にまで行きついた一形が伏茎狭葉性のタカネソヨゴである。これまでは原採地の仙丈岳しか報告がなかったようであるが（北緯 35°43′），信州南安曇郡穂高町の中房温泉（飛騨山脈燕岳への登山路上に当る）約 1460 m の地にも産する（北緯 36°23′50″）。横内 斎氏の 1966 年 11 月 3 日の採集品がそれで，温泉湧出口の附近に群生していたという。

○オオシロガヤツリ *Cyperus nipponicus* Fr. et Sav. var. *spiralis* Ohwi 従来本州西半と四国とに知られたアオガヤツリの一型であるが，長野市若槻の田子池（東経 138°14′）の縁に見出された。横内氏の 1966 年 10 月 26 日の採集品である。此所には明治年間から北地性のエゾノミズタデを産することが知られていたが，ハンゲショウのような暖地性のものが共存するので面白いと思っていた。

（東京都立大学 牧野標本館 水島正美）